



親が不登校の子どもと向き合うためには何が必要か

※紹介する事例はプライバシー保護のため、事実と変えているところがあります。

軸を支える土台②

「待つ」というのは、親が不安に耐えることではありません。それは、自分の価値観とむきあいながら、日常生活に「普通」を取り戻すことです。そのためには土台が必要です。

■理解しても待てない時がある

子どもが不登校になると、ほとんどの親がうらたえます。シオリさんの両親もそうでした。お母さんは、本をたくさん読んだそうです。「これだ!」と思える本にも出会いました。「不登校はサナギの状態。時間をかけて待っていれば、やがて美しい蝶になる」と書いているのを読んで、「よし、じっくり待とう」と思ったそうです。

しかし、そう簡単に待つことができないのが親ではないでしょうか。理解はできても、実感がともなわないと待つことになっていない…。実際に、シオリさんは学校に行けていないことと同じくらい、いやそれ以上に親が落ちこんでいることや不機嫌に見えることがつらかったと言います。これは、多くの当事者が言葉にする事です。「ただ信じてほしい」「自分以上に落ちこまないでほしい」「(無駄なことや求めてもないことをするくらいなら)何もほしくないでほしい」等々のことを言います。

■土台は「親の会」

シオリさんの両親にとっての「軸を支える土台」は、親の会でした。同じ不登校の親の話を聴くことで、心が安まりました。

「朝起きることが大切」と思っていたことが、「朝起きることはできないし、今は起きなくてもその気になったら起きようになる」と知りました。「勉強をさせておかないといざという時に間に合わない」と思っていたけど、「本人がその気にならないと勉強はしない。学校の勉強だけが『学び』ではない」と知りました。

これまでやらなくてはならないと思っていたことが、「無理やりにやっても意味がない」と気づきました。

また、「生きていくことへの執着がなくなりました…子どもと一緒に死ぬことを考えました」という例会に参加した会員さんの言葉(体験)を聴き、「私と一緒に」と涙が出てきました。

子どもへの怒りや憎しみや嫌悪感「陰性感情」と言われるものですが、それは多くの親が抑えこんでしまいがちです。その陰性感情は、誰かに言葉にして伝え、わかり合うことで鎮めることができます。「そんなことを思っただけでいい」と抑えこんでいると、何かをきっかけに噴き出します。時に、子どもを深く傷つけてしまいます。

不登校の子ども親たちは、一般に孤立しがちですが、孤立しては「軸を支える土台」を手にすることができません。「土台」がないと、どんなに良いことを学び理解しても、どこかに無理が生じてきます。

不登校の全国大会

不登校の全国組織は2つあります。この夏にそれぞれの団体が研修会を開きます。参加要項の部数が限られているので、希望される方に郵送いたします。詳しい資料がほしい方は加嶋(080-2717-9392)までご連絡下さい。

登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク

■期日: 8月20日(土)~21日(日)

■場所: 東北学院大学(仙台市)

■主なプログラム

- ・奥地圭子基調講演「僕は僕で良かったんだ」
- ・子ども若者シンポジウム
- ・シンポジウム「震災と不登校」
- ・テーマ別分科会(11の分科会)
- ・記念講演「ありのままに今を輝く」尾木直樹氏

■参加費

<宿泊する場合>…1泊2食と交流会費込み

・大人 17,500円 子ども 11,500円

<宿泊なし>…子どもは無料

・20日 2,500円 21日 3,000円

登校拒否・不登校問題全国連絡会

■期日: 8月27日(土)~28日(日)

■場所: シーサイドホテル舞子ビラ神戸(神戸市)

■主なプログラム

- ・基礎講座「家庭で」村上公平氏
- ・基礎講座「学校で」高垣忠一郎氏
- ・テーマ別分科会(12の分科会)
- ・記念講演「子どもの立ち上がりを支えるとは」広木克行氏

■参加費…18歳以下は無料

・両日参加 4,000円 1日参加 3,000円

■宿泊費…1泊2食と交流会費込み

・大人(中学生以上) 16,200円

・小学生以下 15,200円

映画 奴

7月17日(金)

「奴物語」の続編の先行試写会があります

榎園京介監督のご厚意により、今ひきこもりや不登校をしている方で、事前に連絡のあった方に限り入場を無料にします。ご希望の方は、加嶋までご連絡下さい。無料入場希望者の名簿を作成して、榎園さんに送ります。締切は7月15日(金)です。当事者のみで、元経験者や家族・友人はできません。

不登校・ひきこもり情報誌 編集 会議 OUTSIDE

アウト・サイド

■日時 7月15日(金) 13:00~16:30頃

■場所 ソフィアプラザビル 4階 (大分市東春日町17-19)

■連絡先 加嶋(080-2717-9392)

ashita@fumiya-kashima.net

不登校・ひきこもり情報誌の編集会議は、「明日が見える」(教育・不登校研究所)の活動です。星の会の活動ではありません。

おねがい

原稿をお寄せ下さい

●感想・体験 ●伝えたい情報

●その他不登校に関すること

<メール> toiwase@hoshinokai.net

<FAX> 0972-24-3557

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・インシヤルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

寄付の募集

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかけて下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

<口座記号番号> 01710-8-142651

<加入者名> 不登校を考える星の会

例会の予定

○屋の大分例会…8月6日(土)13:00~16:30

○別府例会…8月6日(土)19:00~21:00

○豊後大野例会…8月11日(木)19:00~21:30

○津久見例会…8月12日(金)19:30~21:30

○夜の大分例会…8月19日(金)19:00~21:30

○湯布院例会…8月25日(木)19:30~21:30

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。

会報発送作業

■7月28日(木)14:00~

■ジョイフル米良店

■お尋ねは河野

(080-5272-9360)まで